

# ぽけっと

2019年7月号 NO. 271

7月1日発行



## 今月のトピックス

### 地域の歴史に親しむ講座

#### 『尾張津島天王祭 直前講座』

- 日時：7月14日（日） 午前10時集合 ※申込不要・定員なし
- 集合場所：津島市観光交流センター
- 講師：大橋忠彦氏（津島ガイドラインボランティア会長）

今年の直前講座は「祭舞台裏巡り」と題して、旧五ヶ村に出かけ斎竹の場所、各車の稚児道、祭河戸の屋台島、そして稚児打ちまわしのルートを経て神社に出向き、本町・天王通り交差点で解散します。小雨決行。

帽子など、各自暑さ対策を実施のうえご参加ください。

また、雨天時の催行の有無については、当日に津島市立図書館までお問い合わせください。

## 開館時間の延長と臨時休館のお知らせ



7月・8月は開館時間が19時まで延長いたします。ぜひご利用ください。

また、9月からは通常通り18時までとなりますので、ご来館の際はお気をつけください。

※7月27日（土）は天王祭の駐車場利用のため、臨時休館いたしますのでご注意ください。

## 💀オカルトとホラー💀

夏といえばオカルトやホラーの季節。実際に7月13日はオカルト記念日であり、7月26日は幽霊の日とされています。ちなみにオカルトとは、「超自然的、また神秘的な現象」を表す言葉で、“現実ではありえないこと”という意味です。悪魔に取り憑かれて首が回る、なんていうのはまさに「オカルト」ですね。一方、ホラーは「恐怖」という意味なので、広い範囲で使われています。

暑さが厳しくなってくるこの頃、怖〜い小説を読んで、肝から冷やしてみませんか。

- 『Another』 綾辻 行人／著 角川書店 913.6 ア
- 『よもつひらさか』 今邑 彩／著 集英社 913.6 イ
- 『残穢』 小野 不由美／著 新潮社 913.6 オ
- 『黒い家』 貴志 祐介／著 角川書店 B913.6 キ
- 『人魚ノ肉』 木下 昌輝／著 文藝春秋 913.6 キ
- 『夜市』 恒川 光太郎／著 角川書店 913.6 ツ



## 新 着 図 書

### 『ヘンな名前の植物』 藤井義晴／著 科学同人 470.3 フ



植物の名前にはきれいなものから、きたない名前、それから不吉なことを想像させる名前など、実にいろんなものがあります。

「名は体を表す」という言葉がある通り、植物の多くはその見た目似ていることからつけられています。しかし「美しい花には棘がある」なんて言葉があるように、きれいな名前と姿からは想像がつかないような毒を持っていたりすることもあります。一方でまさに“そのような”においがするヘクソカズラは、名前やにおいに反してきれいな花を咲かせます。

名前からは想像がつかない意外な一面を持つ植物の世界を、お楽しみください。

## ベストリーダー

### 先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『老舗百貨店の接客法』 末田智樹／著 ←松坂屋の、戦前に作成された接客法に関する4つの資料を紹介。
- 『日本一美味しいのり弁の作り方』 杵島直美／著 ←多彩なのり弁を紹介。綺麗な盛りつけ方のコラムも収録。
- 『介錯人』 辻堂魁／著 ←不浄な「首斬人」を継いだ龍玄。凄腕介錯人の清冽な生きざまを描く。
- 『県民バズごはん』 リュウジ／著 ←全国47都道府県の県民ごはんを自宅で作ることができるレシピ集。
- 『残された山靴』 佐瀬稔／著 ←志し半ばで逝った8人の登山家たちの、最期を追ったルポルタージュ。
- 『逃げ出せなかった君へ』 安藤祐介／著 ←極悪上司に目をつけられ、過酷な追い込みにあう夏野は……。
- 『おはなし上手』 こがみほ／著 ←絵本を読む大人も楽しめる読み聞かせの方法を紹介。
- 『イオンを創った女』 東海友和／著 ←家業からイオングループへと発展させた陰の功労者の人生を紹介。
- 『脳の謎』 ←人間の脳に関する「100の謎」を、5つのテーマに分類し解説する。
- 『齋藤孝の音読de名著』 斎藤孝／著 ←感動の名著を声に出して読むだけで、頭と心を整えられる。

## 図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

### 休館日

23日（火）（毎月第4火曜日）

27日（土）（天王祭）

### 津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

